

【メッセージ】（順不同）

◆文部科学省高等教育局長 合田 哲雄 様

本日、大阪観光大学 熊取キャンパス開設四十周年・大学創立二十五周年記念式典が挙行されるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

大正十年に「明く、浄く、直く」の理念を掲げ開設した明浄高等女学校に起源を持ち、平成十二年に大阪明浄大学として開学された貴学は、当初の建学の精神を受け継ぎつつ、観光人材の育成のための観光教育の発展に取り組まれてきました。また、大阪観光大学への名称変更後も、令和四年に制定した「大学憲章 2022」のもと、大学名に観光を冠する大学として観光学と観光教育の発展に尽力されております。これもひとえに、山本理事長、山田学長をはじめとする教職員の皆様、関係各位のたゆみない御努力によるものであり、深く敬意を表します。

さて、少子高齢化が進む中、交流人口・関係人口の拡大は地域の活力の維持・発展に不可欠です。特に、自然や文化などの国内外の観光客を魅了する我が国の資源を活かすことにより、活力に満ちた地域社会の持続的な発展や、異文化の尊重、国際相互理解の増進に寄与する観光の果たす役割は非常に大きいものです。

また、グローバル化・デジタル化がますます進展する中で、大学の知を活かし、社会経済構造の変化に対応した観光学を確立することや、学生が異なる価値観や文化に触れつつ、楽しむ力と生き抜く力を養成し、地域・社会へ貢献することがさらに重要となります。

このように観光を担う人材の重要性はますます高まる中で、貴学におかれては、「自由を共に楽しみ、社会を共に生きぬく」という大学憲章の理念の実現に向け、文部科学省の「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に採択され、フィールドワーク・オンライン講座・対面講座を組み合わせ、産業界のニーズと受講者の利便性を両立した観光DXプログラムを実施されてきたと承知しております。

今後も、建学の精神に基づき、教職員の皆様が一丸となって取り組まれることを切に期待しております。

本日の栄えある式典を契機として、貴学が、これまで培われた伝統と実績を継承しつつ、充実した教育研究にその真価を一層発揮されますことを念願してやみません。

結びに、貴学の今後ますますの御発展と、御参会の皆様の御健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

【メッセージ】（順不同）

◆元学校法人明浄学院再生管財人・理事長**弁護士 中井 康之 様**

学校法人大阪観光大学として熊取キャンパス開設 40 周年および大学創立 25 周年を迎え、まことにめでとうございます。

数年前には先行きを見通せない苦難の時期がありました。その存続の危機を、現在の理事や評議員の皆さんが、教職員や卒業生・在学生の力を結集して見事に乗り越えられました。法的側面から支援をさせていただいた一人として感慨深い思いです。

熊取キャンパスは、日本の玄関口である関西国際空港に近接し観光学の学びの地として、また国際交流の場として最適です。近時の多発する国際紛争は、「法の支配」から「力の支配」への変容に起因する危機的状況の表れのように思えます。そのような時代にこそ、観光学を起点とした人や地域の国際交流こそが、国家の枠を超えた相互理解を深め、紛争の平和的解決と防止に繋がるものと信じます。

大阪観光大学のさらなる発展を祈念しています。

◆日本私立大学協会 会長 小原 芳明 様

大阪観光大学 熊取キャンパス開設 40 周年・大学創立 25 周年を心からお祝い申し上げます。

観光は、グローバル化時代を迎えた我が国にとって極めて重要な成長分野であり、その人材育成は喫緊の課題です。貴学は早いうちから、今日の観光立国社会の到来を予見するかの如く、大学名に観光を冠し、観光教育の発展に努めています。

2022年には「大学憲章」を制定され、「自由を共に楽しみ、社会を共に生きぬく」をスローガンに掲げ、理事長の山本 健慈先生、学長の山田 良治先生のリーダーシップのもと、様々な教育・経営改革に挑み、観光教育の発展に特化した高等教育を推進しています。

この取り組みには、本協会としても大きなご期待をしております。今後も、観光学教育・研究を通して、日本の観光業界の発展に一層ご貢献下さることを心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

◆日本私立大学協会 関西支部長 谷岡 一郎 様**(学校法人谷岡学園理事長・大阪商業大学学長)**

熊取キャンパスが開設 40 周年を迎えられるとのこと、まことにめでとうございます。多くの優れた卒業生を世に送り出し続けた、その歴史に敬意を表します。今後もますます、教育に研究に邁進されることとお慶び申し上げます。私も熊取キャンパスに何度かお邪魔したことがあります。その環境のすばらしさはどこにも負けないものでした。

【メッセージ】（順不同）

経済発展のキーワードとして、「観光」というものが重要となりつつあります。閑空にほど近く、万博会場（跡地）や IR 施設のある夢洲にも交通便利な立地に恵まれた本校は、これからますます観光の中核をになう拠点として発展していくことでしょう。考えてみれば、日本ほど（そして特に関西ほど）文化コンテンツに長けた国・地域はないわけですから、今後の発展は約束されているとすら言えるでしょう。21 世紀の観光産業のリーダーシップをとるのは、大阪観光大学を置いて外にないだろうと感じています。

もう一度、開設 40 年おめでとうございます。

◆国土交通省近畿運輸局 局長 服部 真樹 様

大阪観光大学創立 25 周年、前身である大阪明浄女子短期大学熊取キャンパス開設から 40 周年を謹んでお慶び申し上げます。

貴学はこれまで地域や社会に貢献することを使命として取り組まれており、留学生を積極的に受け入れ、国際色豊かなキャンパスでの地域や企業と連携した実践的な学びを通じて、現代社会を共に生きぬく力や地域と社会に貢献する実践力を培った多数のグローバルな観光人材を育成してこられました。ご関係の皆様にご心より敬意と感謝を表します。

また、貴学と近畿運輸局は 2024 年 3 月に包括協定を締結しまして、相互支援・協力を推進しており、感謝申し上げます。引き続き、観光・運輸 分野のさまざまな課題の解決に向けてご協力をお願いいたします。

貴学のさらなる飛躍を強く期待しますとともに、ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

◆熊取町長 藤原 敏司 様

大阪観光大学熊取キャンパス開設 40 周年、並びに大学創立 25 周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴学が掲げる「自由を共に楽しみ、社会を共に生きぬく」というスローガンは、複雑・多様化する現代社会において強く求められているものであり、これらの力を備えた人材は、自由で持続可能な共生社会の実現の根幹をなすものであります。

観光立国の実現に向けた取組が官民一体で推進される中、国内外の観光業界やサービス業界等に優秀な人材を長年輩出されていることに深い敬意を表します。また、教職員・学生の皆様の地域活動への参画や様々な官学連携の取組は、地域の活力の維持向上に不可欠なものであり、日頃のご協力を厚く御礼申し上げます。

貴学が今後も観光学・観光教育を先導する拠点、地域に愛され世界に開かれた大学として、ますます発展されますことを祈念申し上げます。

【メッセージ】（順不同）

◆泉佐野市長 千代松 大耕 様

大阪観光大学様におかれましては、熊取キャンパス開設 40 周年、大学創立 25 周年をお迎えになりましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴学は、キャンパス開設以来、豊かな心と深い教養を備えた人材の育成にご尽力してこられました。また、大学を設立後は、関西国際空港に隣接という立地を強みに、高い専門知識と実践力を兼ね備えたグローバル人材を数多く輩出され、地域社会や国際観光の発展に大きく貢献しておられます。

本市とは、「大阪観光大学と泉佐野市との連携協力に関する協定」を令和 4 年 10 月に締結し、互いの特性を生かした観光施策を展開する良きパートナーとして、地域の活性化に共に取り組んでいただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

新たな歴史の第一歩を踏み出される貴学におかれましては、さらなる「観光」の形を創造され、将来的に持続可能な観光地域づくりを担う人材の育成を通じて、今後益々ご発展されますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆和歌山県知事 宮崎 泉 様

大阪観光大学の熊取キャンパスが開設 40 周年、また大阪観光大学が創立 25 周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

大阪観光大学におかれましては、観光学の探究はもとより、多様な観光人材の育成に尽力されておりますことに、心から敬意を表します。また、本年 2 月 28 日に締結した包括連携協定により、本県の地域活性化や人材確保に多大なる御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、「聖地リゾート！和歌山」をキャッチフレーズに、観光産業の更なる発展に取り組んでおります。昨年の外国人宿泊客数は過去最高を更新するなど、県内全域でインバウンドが増加する中、国際感覚に優れた人材はこれからの観光産業を支える貴重な存在です。

貴学で豊かな感性を育まれた人材が本県とつながることで、和歌山県がより魅力的な地域になることを期待いたしますとともに、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大阪観光大学の一層の御発展と関係者の皆様のますますの御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。

◆泉大津市長 南出 賢一 様

大阪観光大学熊取キャンパス開設四十周年、そして大学創立二十五周年という記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

【メッセージ】（順不同）

長年にわたり地域に根ざした教育と研究を着実に積み重ねられ、観光分野をはじめとする多様な領域で、創造性と国際性を兼ね備えた人材を数多く輩出してこられた貴学の歩みは、地域社会の発展に大きく寄与してこられました。

本市におきましても、令和7年11月の連携協定を機に、学生の皆さまとの協働や地域資源を活かした新たな価値創出に向けた取組みが動き始めております。貴学の豊かな知見と若い力が地域にもたらす可能性に、大きな期待を寄せております。

この節目が、貴学のさらなる発展と、地域社会を担う次代の人材育成の一層の飛躍につながりますよう、心より祈念いたします。

◆三重県名張市長 北川 裕之 様

大阪観光大学熊取キャンパス開設 40 周年、ならびに大学創立 25 周年の輝かしい節目を迎えられましたこと、名張市を代表し、心よりお慶び申し上げます。

貴学が長きにわたり、観光産業の未来を担う優れた人材を育成し、学術研究の発展にご尽力されてこられましたことに、深く敬意を表します。

さて、名張市と貴学とは、人的・知的資源の交流・活用を図るとともに、本市の重要な柱である観光振興をはじめとした施策上の諸課題に連携して対応することを目指し、包括連携協定を締結しております。

この協定に基づき、これまでも貴学の持つ専門的な知見を生かし、本市の地域振興に多大なるご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

結びに、大阪観光大学の益々のご発展と、学生並びに教職員、関係各位のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

◆大阪府教育委員会 教育長 水野 達朗 様

大阪観光大学が熊取キャンパス開設 40 周年・大学創立 25 周年の節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴大学では時代のニーズに的確に対応し、海外からの学生受け入れや、日本に住む日本語指導が必要な学生の受け入れの制度も設けられており、14 の国・地域からの留学生が共に学ぶ国際的な学習環境が確立されています。そのような環境のもと、これまで、観光人材の育成に尽力されてきたことに深く敬意を表します。

令和6年12月20日には、貴大学と大阪府教育委員会は連携協定を締結いたしました。連携を通して、日本語指導の充実等、教育の諸課題を共に解決するだけではなく、地域・社会への貢献やグローバル人材の育成など多方面において協働して取り組んでいけることを心強く思っています。

【メッセージ】（順不同）

結びに、大阪観光大学が熊取キャンパス開設 40 周年・大学創立 25 周年を契機にますます発展されることを祈念いたしますとともに、関係の皆様の一層の御活躍を心よりお祈り申し上げます。

◆学校法人関西医療学園 関西医療大学 理事長 武田 大輔 様

熊取キャンパス開設 40 周年、ならびに大学創立 25 周年、誠におめでとうございます。貴学が観光を冠する日本初の大学として、地域社会と世界とを結ぶ架け橋として、観光および国際交流の分野において多大なるご貢献を重ねてこられましたことに、心より敬意を表します。

「和魂地球人」という理念のもと、「地球益」という、世界全体の豊かさと楽しさを志向された実践教育のご姿勢は、将来の予測が極めて困難とされる時代を生きる若者たちにとって、かけがえのない羅針盤となるものと確信いたします。

平素より大学間の連携にご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。グローバル化の進展により新たな知見が次々と生まれる現代の大学運営においては、学際的な交流の重要性がますます高まっております。今後とも、同じ熊取の地に学び舎を構える大学として、引き続きご指導を賜れますようお願い申し上げます。

貴学のさらなるご発展と、輝かしい未来を心よりお祈り申し上げます。

◆関西医療大学 学長 伊東 秀文 様

大阪観光大学が熊取キャンパス開設 40 周年、ならびに大学創立 25 周年という記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

長年にわたり、観光を通じて人と地域、そして世界をつなぐ教育と研究に取り組み、数多くの有為な人材を社会に送り出してこられた貴学のご努力とご功績に、深く敬意を表します。

観光と医療はいずれも「人と人とのつながり」を大切にする分野であり、地域社会の発展に寄与するという理念を共有しております。

熊取町は、豊かな自然と文化、そして温かな人の絆に恵まれた地域です。これからも両大学が連携を深め、ともに地域の発展と次代を担う若者の育成に貢献できますことを心より願っております。

貴学がこれまで築かれた豊かな伝統と実績を礎に、今後ますますご発展されますことをお祈り申し上げますとともに、教職員ならびに学生の皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

【メッセージ】（順不同）

◆京都大学 複合原子力科学研究所 所長・教授 黒崎 健 様

大阪観光大学の創立 25 周年、そして前身である大阪明浄女子短期大学が熊取キャンパスを開設して 40 周年という記念すべき年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり、「観光」を通じて、人と地域、そして世界をつなぐ教育・研究を積み重ねてこられた貴学の歩みは、日本における観光学発展の歴史そのものです。創立以来、学生一人ひとりの個性を尊重した教育を通じて、国際的視野と「観光」の素養を備えた多くの卒業生を輩出し、地域社会のみならず、国内外に大きな影響を与えてきました。

また、地域との共生という観点では、関西国際空港が目の前にあるという絶好の観光フィールドを活かして、大阪府泉南郡熊取町に根ざした学びを展開してられました。まさに「地域に開かれた大学」「世界に羽ばたく大学」の象徴でもあります。25 年、40 年という節目を新たな出発点として、観光教育のさらなる深化を続けられることを心より願っております。貴学の未来が、これまで以上に輝かしいものとなりますようお祈り申し上げます。

◆学校法人浪商学園 理事長 野田 賢治 様

このたびは、熊取キャンパス開設 40 周年ならびに大学創立 25 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴学が掲げる「観光学を通じて楽しむ力を育む」という理念は、価値観の多様な現代社会において、自ら考え、前向きに生きる原動力を育てるものであり、誠に意義深いものと存じます。

また、これからの観光は、山田良治学長のお言葉をお借りすれば、「観光を通して、お互いが交流し、いかに自分のことのように他国の家族や恋人のことを考えられるか」という気づきをもたらすもので、このことが世界平和に寄与する役割は、決して小さなものではありません。

同じ熊取の地に学び舎を構える者として、今後も貴学がご発展を続け、「楽しむ力」を身につけた学生の皆さんが社会で輝かれることを心より願っております。

◆大阪体育大学 学長 神崎 浩 様

大阪観光大におかれましては開設四十周年並びに大学創立二十五周年という佳節を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。日本で唯一の観光大学として長年にわたり、観光教育の先導的役割を担われ、地域社会の発展ならびに外国人留学生の教育に寄与されてきた貴学のご功績に、深甚なる敬意を表する次第でございます。

2024 年に締結されました熊取町に所在する四大学による連携協定は、学術・教育・地域貢献の新たな地平を切り拓く礎となるものであり、今後の具体的な協働の展開に大い

【メッセージ】（順不同）

る期待を寄せております。大阪体育大学といたしましても、学生間、教職員間での相互交流の場を持ちながら貴学との連携を一層深め、互いの特色を活かした共創の道を歩んでまいりたいと存じます。今後ともお力添えを賜りますことをお願い致します。

貴学の更なる飛躍と、教職員ならびに学生の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

◆大阪府立日根野高等学校 校長 山本 好男 様

大阪観光大学、熊取キャンパス開設 40 周年・大学創立 25 周年おめでとうございます。この泉南の地で多くの人材輩出に貢献をしてこられたことに心より敬意を申し上げます。

日根野高校は貴学とフェンス 1 枚で隣接をする稀有な立地の関係にあり、また、本校も今年で 39 年を迎えるとても不思議なえにしで結ばれた関係にあります。

当時この日根野の地に、時を同じくして誕生をし、ともに様々なことを経験し成長を続けてきた貴学とは、近くて遠い関係でもあったように思います。

しかし、この心理的には厚かったフェンスにゲートを開通していただき、人的・物的交流が盛んにおこなわれるようになりました。これにより、将来にわたってさらなる可能性が生まれているように感じています。

大阪観光大学が、いつまでもこの泉州の地で、末永く愛され、そして貴学にかかわる全ての方々のご活躍をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 様

大阪観光大学熊取キャンパス開設 40 周年、ならびに大学創立 25 周年おめでとうございます。

熊取キャンパス開設以降の地域観光を取り巻く環境は、1994 年の関西国際空港開港、そして 2006 年の観光立国推進基本法成立を経て、大きく変化を遂げてきました。そのような環境の中、貴学が地域の観光産業や空港運営を支える優れた人材を輩出されてきたことに、心より感謝申し上げます。

今後政府が掲げる訪日客年間 6,000 万人の大きな目標達成に向けて、地域や空港がさらなる成長を遂げるためには、観光の魅力を深く理解し、社会の変化に柔軟に対応できる貴学の人材が不可欠です。加えて、貴学と地元地域の連携が一層強化されることで、地域の発展と人材育成にさらなる相乗効果が生まれることを期待しております。

教職員の皆様、学生の皆様、そして関係者の皆様のご尽力に改めて敬意を表すとともに、貴学のさらなる飛躍とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

【メッセージ】（順不同）

◆一般社団法人大阪外食産業協会 会長 中井 貫二 様 千房株式会社 代表取締役社長

熊取キャンパス開設 40 周年、ならびに貴校創立 25 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴校は日本で初めて大学名に「観光」を冠し、観光を日本の主要産業として位置づけ、これまで多くの人財を育成してこられました。

この観光において「食」は極めて重要な要素であり、かつて「天下の台所」と称された大阪の食文化は、今もなお国内外の観光需要を高める大きな原動力となっています。

こうした中、貴校と大阪外食産業協会は 2007 年度より連携し、「外食産業論」「レストラン経営論」を開講してまいりました。当協会の山川雅行常任役員を中心とする講師から多くの学生が実践的な学びを得ており、その相乗効果は大きな成果となって表れています。

貴校をご卒業された学生のみなさまが外食、観光産業の発展に大きく寄与されることを期待するとともに、貴校のさらなるご隆盛を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆株式会社おてつたび 代表取締役 CEO 永岡 里菜 様

熊取キャンパス開設 40 周年、大学創立 25 周年の節目を心よりお祝い申し上げます。

2023 年より貴学と連携し、多くの学生の皆さまがおてつたびを通じて地域の現場を訪れ、学びと成長の機会を得ていることを大変嬉しく存じます。

次世代の人材が地域に関わり、地域の課題を自分ごととして捉えることは、日本の未来にとって何より重要だと私たちは考えています。その先駆けとしていち早く、おてつたびとの連携を通じて実践を開始頂いた貴学のご尽力に深く敬意を表します。

今後も産学官の垣根を越え、教育・研究・実践が循環する取り組みをご一緒し、地域の新たな可能性を共に切り拓いてまいりたく存じます。

末筆ながら、貴学のますますのご発展と関係各位のご健勝をお祈り申し上げます。

◆水間鉄道株式会社 代表取締役社長 藤本 昌信 様

貴学熊取キャンパス開設 40 周年・貴学創立 25 周年を迎えられるに際し、衷心よりお慶びと感謝を申し上げます。

地元の交通インフラを 100 年間に亘り担当して参りました弊社にとって、大学が創立され、多くの若人が学び、活動され、育っていく様子を、このうえなく心強く感じて参ったところでもあります。

この間、弊社社業にも、先生方、学生の皆様にアドバイスを頂いたり、産学の連携協定を締結させて頂き、活動を共にさせて頂くなど、心強いご尽力も賜って参りました。

【メッセージ】（順不同）

今般の慶事を更なる発展の礎とされ、地域の頭脳としての役割を果たされ続けますことを心から祈念致します。

貴学も、国内外の学生の学びの拠点として、益々ご活躍されますよう、弊社も応援団に加わらせて頂きたいと念じています。

〈以下アドバイザーボードの方々〉

◆一般社団法人文教夢倶楽部代表理事 合田 隆史 様

大阪観光大学 熊取キャンパス開設 50 周年、そして大学創立 25 周年を心よりお祝い申し上げます。

貴学アドバイザーボードの一員として、地域社会に深く根ざし、観光立国日本の未来を担う人材育成に邁進されてきた貴学の教育・研究の成果に心から敬意を表します。

グローバルな視点と実践力、そして「楽しむ力」を兼ね備えた学生を世に送り出す貴学の教育方針は、社会が激動する今、その重要性を一層増しています。とくに、これからの Society 5.0 と言われる時代に求められるのは、社会の各界で、人間にとって本当に大切にすべきものは何かを見極め、AI や ICT を誤りなく使いこなす力を持った社会の形成者の育成だと考えます。貴学が目指す、社会変革を牽引する高等教育・研究拠点としての役割に、改めて期待を寄せるところでございます。

記念すべき節目を迎え、貴学のより一層の飛躍を心からご祈念申し上げます。

◆NPO 法人若者の進学応援プロジェクト副代表理事

NPO 法人学生文化創造監事 月岡 英人 様

熊取キャンパス開設 40 周年、大学創立 25 周年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

今や国内外の人・モノ・情報の移動に不可欠な存在となった関西国際空港が着工されたのが開設 2 年後の 1987 年、開港はその 7 年後の 1994 年でした。この地に、この時期にキャンパスを置き、大学を開き、教育研究に取り組んでこられたことに敬意を表します。

貴学が教育研究の対象とする観光は、我が国にとって重要な分野です。観光白書によれば、国内の旅行消費額は訪日外国人の増加もあり約 33 兆円（2024 年）に上っています。一方でオーバーツーリズムという問題の解決も求められています。また、人口減少に直面している我が国において、交流人口、関係人口、二地域居住において重要な役割を期待されています。観光はこれまでの概念を超えていこうとしているかのようです。

貴学の教育研究が前途ある多くの若者から注目され、また地元、国内、国外のニーズにも応え、貴学が観光と観光を巡る諸課題の教育研究の聖地となっていくことを願っています。

【メッセージ】（順不同）

◆前桃山学院教育大学長**元大阪府教育長 中西 正人 様**

大阪観光大学が記念すべき節目の年をお迎えになりましたことを心からお祝い申し上げます。

私は若い頃から山本理事長の一步後を追いかけて歩んでまいりましたが、どんな時も前を向いてすすむ強い意思と行動力、仲間とくに後進に対する温かいまなざしと愛情は私にとってのお手本でした。

そんな山本さんが、和歌山大学学長、国立大学協会専務理事を歴任された後、大阪観光大学の理事長をやるとお聞きしたときは正直驚きましたが、愛着のある地元の大学の再生に余生をかけようとされる強い決意に感動いたしました。

あれから 5 年近い歳月が経過いたしました。教職員の皆様一体となった懸命のご努力が実を結び、大学は見事に再生、発展の道を歩んでおられます。これは極めて厳しいものがある我が国の大学教育のこれからの在り方にも重要な示唆を与えるものだと思っています。

大阪観光大学が、この間築いてこられた地域社会や産業界との連携、そして真骨頂である一人一人の学生を大切にする教育をさらに発展させ、日本一の観光大学へと前進されることを願ってやみません。

◆元大阪教育大学教職大学院教授**元桃山学院教育大学特別客員教授 深野 康久 様**

熊取キャンパス開設 40 周年・大学創立 25 周年をお迎えになられましたことを、心からお喜び申し上げます。皆様方は、これまで細心にしてかつ大胆な改革を進めてこられました。そのご努力が実を結んだものと拝察いたします。「新観光学教育の構想と実践」は、「大学憲章 2022」に示す「自由を共に楽しみ、社会を共に生きぬく」人々の育成を益々推進することと思います。今後のゆるぎないご発展を願い、お祝いの言葉といたします。

〈以下卒業生〉**◆2007 年卒 学年幹事 江原 誠 様**

この度、母校が 25 周年という節目の年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。記念誌発行にあたり、このような形でメッセージを寄せる機会をいただけたこと、大変嬉しく思います。

学生時代を振り返ると、学びは教室だけに留まらず、多くの経験を通じて得られたものでした。学友会での活動では、大学祭の企画運営や地域での取り組みに携わり、仲間とともに創り上げる喜びと責任を感じました。またサークル活動では、観光系の大学ならではの特色

【メッセージ】(順不同)

を活かし、歴史研究を兼ねた旅行や観光地でのキャンプなど、楽しみながら学ぶ機会にも恵まれました。

専門分野の学びにおいては、就職に直結する知識や実践経験を積むことができ、職場実習や研修発表などを通じて、自ら考え行動する力を養うことができました。これらの経験は、現在でも大きな財産となっています。

卒業後は、念願だったホテル業界に就職し、気づけば18年が経ちました。これまで宿泊部門(フロント・ロビーサービス)、料飲部門(宴会サービス)を経験し、現在は営業部門にてホテルの魅力を多くのお客さまに伝える仕事に携わっています。立場は変わりましたが、「人と向き合うことの大切さ」という学びは、今も変わらず私の軸となっています。

母校は観光業界の未来を担う人材を育てる場として、25年という歴史を積み重ねてきました。これから学びを深める後輩の皆さんが、それぞれの道へ羽ばたき、観光業界はもちろん、多方面で活躍されることを期待しています。そして進んだ先がどこであっても、観光を学んだ者としての視点や経験が、社会を支え、観光業界を盛り上げる力になることを願っています。

母校のさらなる発展と、関わるすべての皆さまのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

◆2007年卒 学年幹事 大庭 孝雄 様

この度は、25周年おめでとうございます。

私が入学した年度で大学生が1回生から4回生まで全学年揃うという節目でしたが、25周年を迎えると聞き時間の速さを改め感じました。

在学時代は学友会でお世話になり、専門演習では中尾ゼミで研修旅行や体験など大変充実した学生生活でした。

現在はJR西日本のグループ会社で構内運転士(車両基地構内での電車の運転)と操車業務に携わっております。

大学内のアルバイト求人で見つけて今の会社に勤めて今年で20年になりました。

今年度から同窓会の運営委員としてもお世話になっております。まだまだ至らぬ点ばかりですが、今後も、同窓会側からお手伝いをさせていただき、大学のさらなる発展を願っております。